

共通科目	緩和医療学特論 I Advanced Study & Research for Palliative Medicine I		DM_3014	開講	毎年・隔年
				区分	選択
単位	1 単位	科目責任者	有賀悦子 教授 (板橋・緩和)	授業形態	講義・演習

概要	専門的緩和医療の知識をより深く、実践的に学ぶ。
到達目標	患者のQOLの維持・向上を目指す緩和医療を医療全般に应用することができる。
事前事後学習	講義で該当する「専門家をめざす人のための緩和医療学」、「Oxford Textbook of Palliative Medicine 第5版」(医局図書および大学図書館内)を一読しておくことが望ましい。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。 「がん等の診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」を組み合わせる場合は、指定されたe-learningを修了すること。
評価方法	講義・演習の課題(50%)、演習の取り組み、プレゼンテーション(30%)、Discussion内容(20%)を評価する。
参考書	日本緩和医療学会編. 専門家をめざす人のための緩和医療学(改訂第2版)日本緩和医療学会編集. 南江堂東京, 2019年 Oxford Textbook of Palliative Medicine, 5th ed. Oxford University Press, Oxford, 2015
履修上の注意事項	履修方法 : 下記講義の日程の選択、「緩和ケア研修会」および演習への参加によって、15時間の履修とする。 履修方法については、事前に科目責任者と相談すること。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

No.	月日	時間	講義タイトル	担当者	備考
1	8/27(木)	18:20-19:50	身体的問題(1) 呼吸症状の評価とマネジメント ～多職種でどう支えるか、 苦痛緩和のための鎮静をどう考えるか～	田中桂子 講師 (外部講師)	講義室は後日連絡
2		20:05-21:35	非がん疾患の緩和ケアと在宅医療	平原佐斗司 講師 (外部講師)	
3	8/28(金)	16:35-18:05	心不全の緩和ケア	横山直之 准教授 (板橋・内科)	
4		18:20-19:50	精神的問題とその対処	栃木 衛 教授 (板橋・精神)	
5		20:05-21:35	緩和的抗がん治療(1) 消化器症状とその対処 ～緩和的外科的治療	宮澤光男 教授 (板橋・緩和)	
6	8/29(土)	9:00-10:30	緩和ケアの広がりとその人らしさを育むケア	梅田 恵 講師 (外部講師)	
7		10:45-12:15	身体的問題(2); 痛みとその対処	有賀悦子 教授 (板橋・緩和)	
8	8/31(月)	18:20-19:50	緩和的抗がん治療(2) ～緩和医療概論、内科的治療含む	高木雄亮 助教 (板橋・緩和)	
その他の演習・セミナー等		1) 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会」(年2回、4月27日(月)と秋頃を予定)を履修年度に修了した場合、本コースに組み合わせた時間数とすることが可能である。事前に履修計画を担当教員と立てること。事前連絡がない場合、受講したが修了証を得ていない場合は、認めない。 2) 症候学的臨床演習(木曜日9時～10時半、病院16階カンファレンスルーム3、演習参加日を第3希望まであげ、前日までに連絡のこと。kanwa@med.teikyō-u.ac.jp)			

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。